



Personal MBA

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

原理原則を行うことが結果を行うことである。

物事をシンプル化せよ、そして効率化せよ。

仔細な分析は、現実への理解を与える。現実への理解は結果を可能とするのである。

未知の創造が、企業の挑戦である。

可能性を否定することは、未来を否定することである。

社員が唯一結果を与えるのである。そのため、社員第一という方針は正しいのである。

最も優れた企業は、社員満足が、最も高い企業である。

正しい分析は、未来の予測を正しく与えることができるのである。

能力は、現実を可能として与える。それが人材の要求である。

安定した利益構築が企業における健全性なのである。利益は、時代と未来に対する正しい企業の構築において求められるものであり、企業の内実が、それを与えるものである。

これらは企業は、その企業環境と現実において、結果を求めるものであり、より優れた現実は、製品と生産、効率性とコストにおいて与えられるものである。

これらをシンプル化することは、大幅な効率化であり、先端 IT システムにおける自動化は、コスト削減と安定した利益構築を実現できるのである。

企業は、企業製品とサービスにおいて自己を評価される。